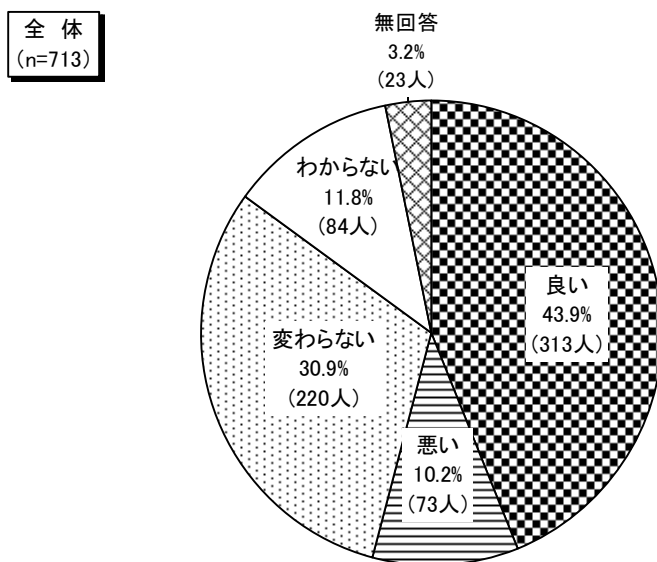


6. 地域社会の安全・安心（治安）について

（1）現在の治安状況

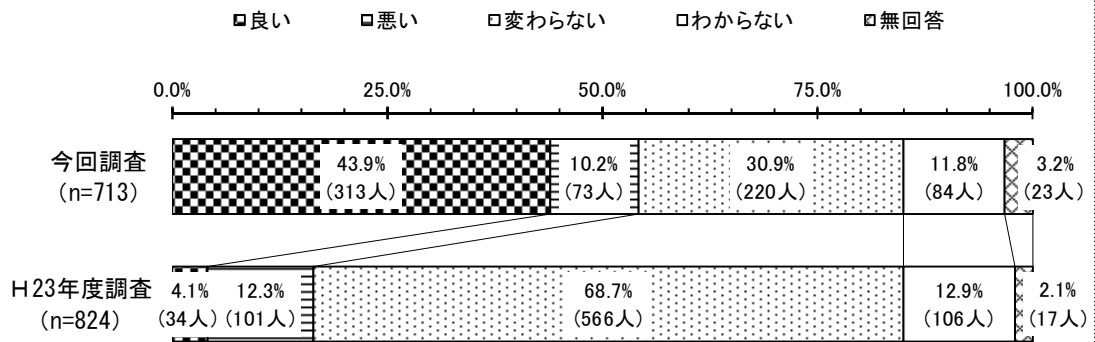
問 21 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



現在の居住地の治安状況が「良い」（43.9％）と思う人は4割台となっている。一方、治安状況が「悪い」（10.2％）と思う人は1割程度となっている。また、「変わらない」（30.9％）が3割台となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



今回調査は平成 23 年度調査に比べて、「良い」の割合が、大きく上昇している。

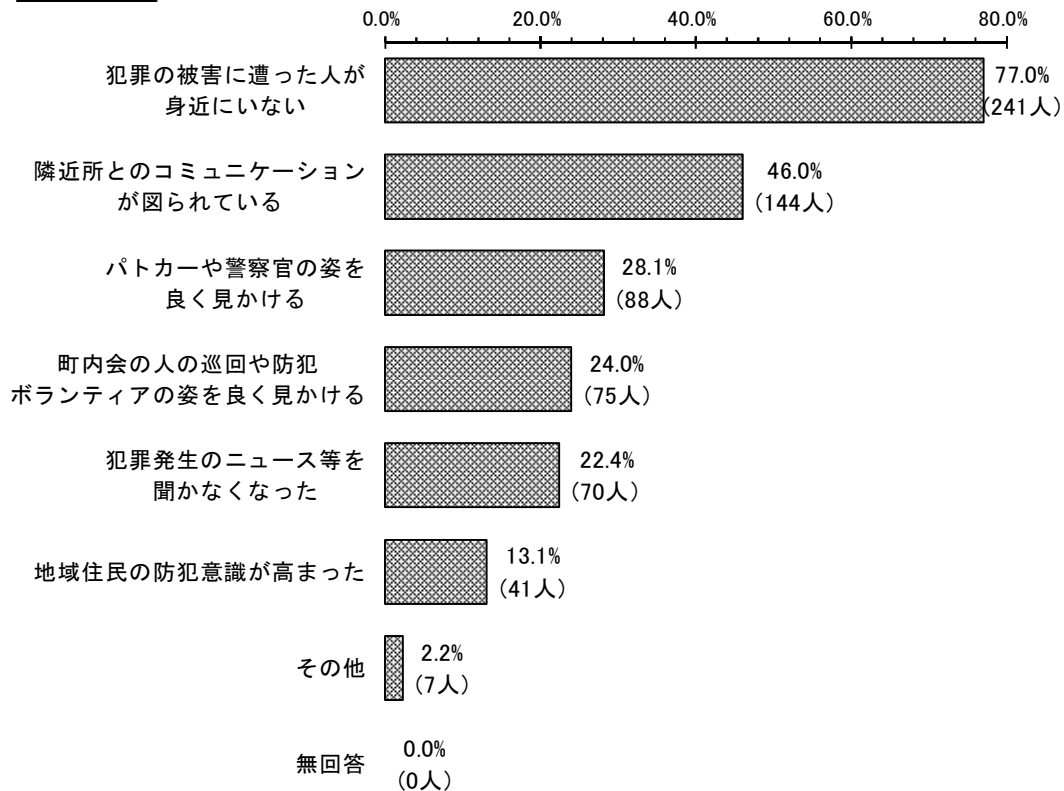
(2) 治安状況が良いと思う理由

(問 21 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 21-1 良いと思う理由は何ですか。

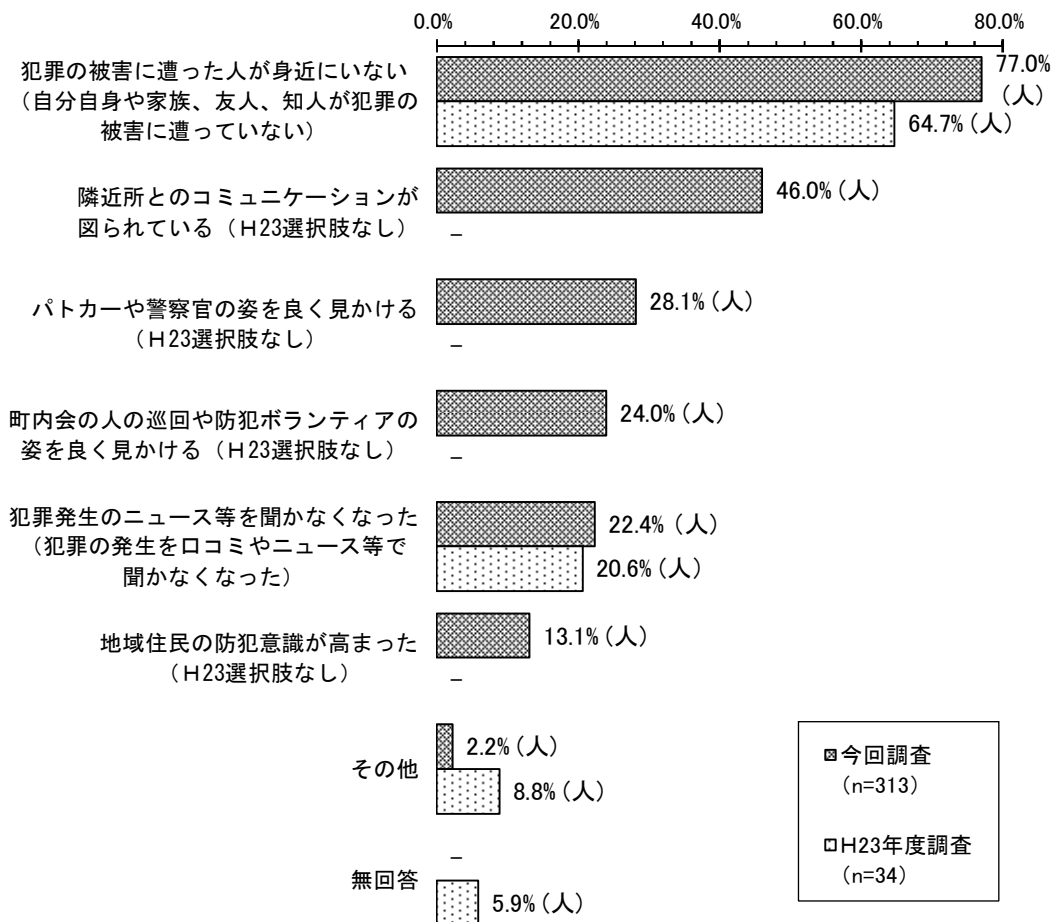
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

該当者全体
(n=313)



治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(77.0%)が最も多く、7割台となっている。以下、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(46.0%)が4割台、「パトカーや警察官の姿を良く見かける」(28.1%)、「町内会や防犯ボランティアの姿を良く見かける」(24.0%)、「犯罪発生のニュース等を聞かなくなった」(22.4%)が2割台、「地域住民の防犯意識が高まった」(13.1%)が1割台で続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



※今回調査は複数回答、平成 23 年度は単数回答、また選択肢も異なるため、図のみの掲載に留める。

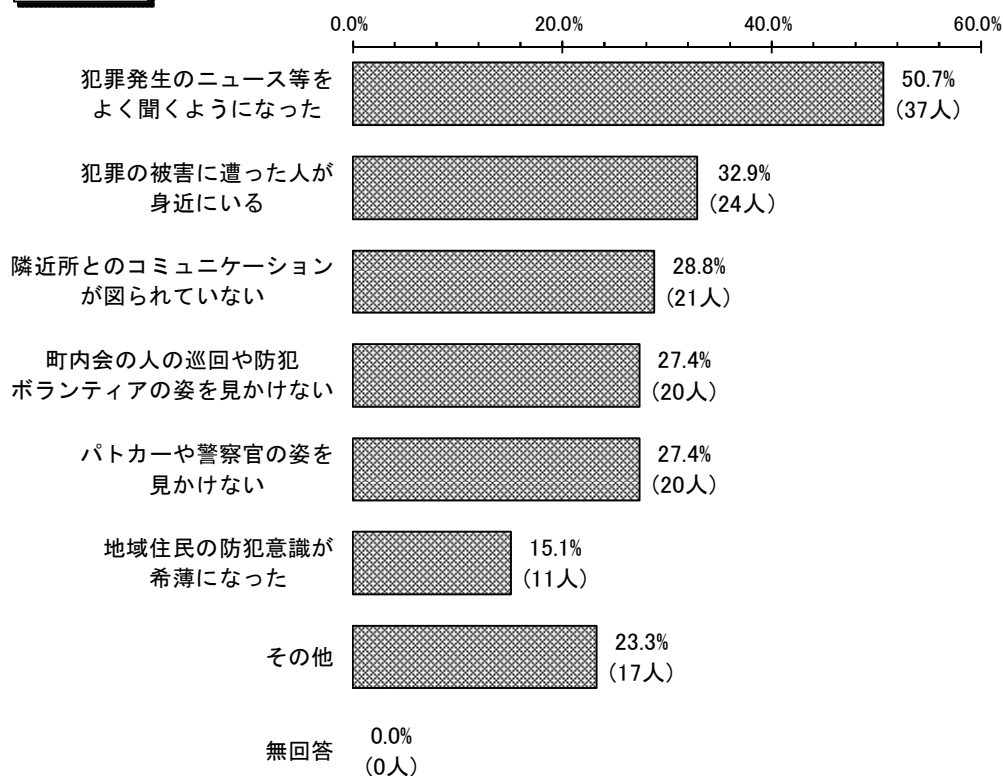
(3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 21 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 21-2 悪いと思う理由は何ですか。

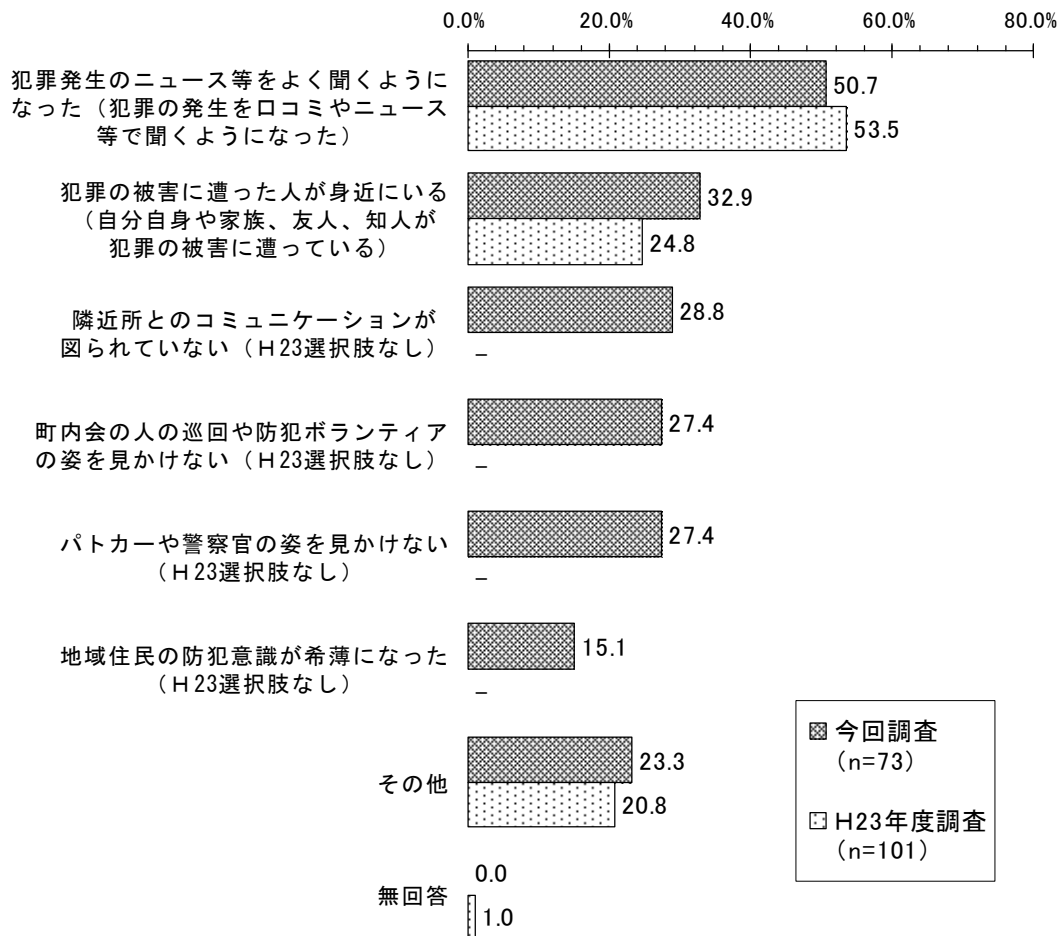
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

該当者全体
(n=73)



治安状況が悪いと思う理由は、「犯罪発生ニュースをよく聞くようになった」(50.7%)が5割台で最も高くなっている。以下、「犯罪被害に遭った人が身近にいる」(32.9%)が3割台、「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」(28.8%)と「町内会の人や防犯ボランティアの姿を見かけない」「パトカーや警察官の姿を見かけない」(いずれも27.4%)が2割台で続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

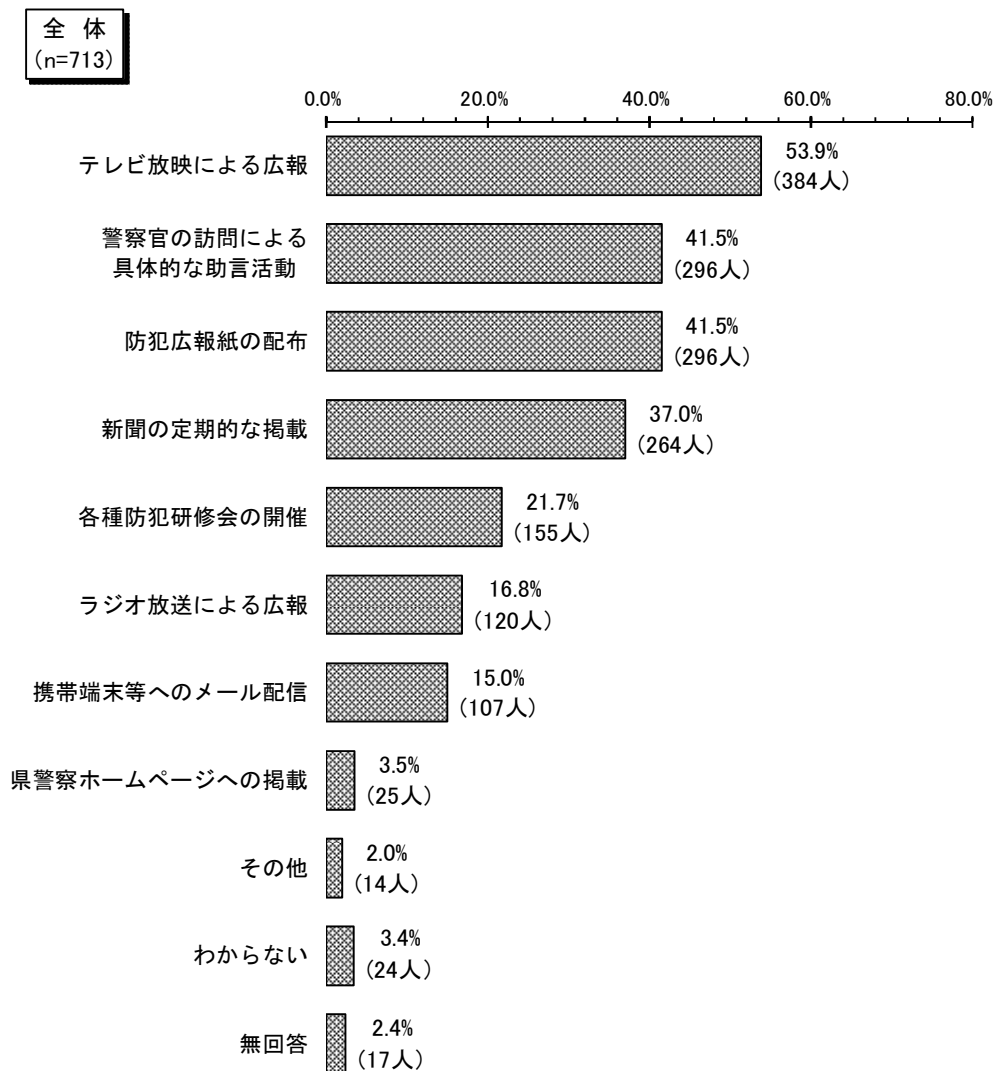


※今回調査は複数回答、平成 23 年度は単数回答、また選択肢も異なるため、図のみの掲載に留める。

(4) 犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供手段

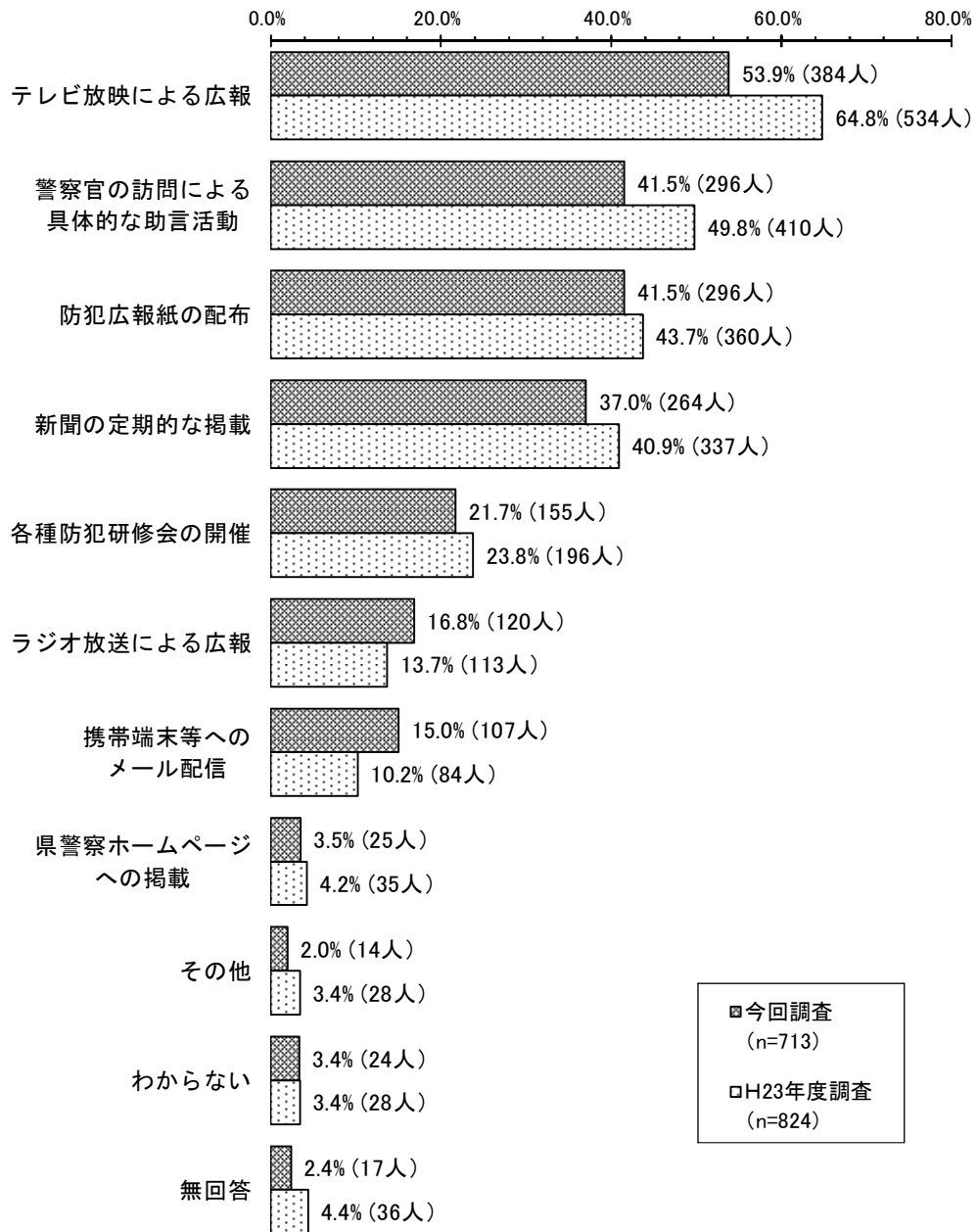
問 22 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供方法については、「テレビ放映による広報」(53.9%)が最も多く、5割を超えた。以下、「警察官の訪問による具体的な助言活動」と「防犯広報紙の配布」(いずれも41.5%)が4割台、「新聞の定期的な掲載」(37.0%)が3割台、「各種防犯研修会の開催」(21.7%)が2割台、「ラジオ放送による広報」(16.8%)、「携帯端末等へのメール配信」(15.0%)が1割台で続いている。

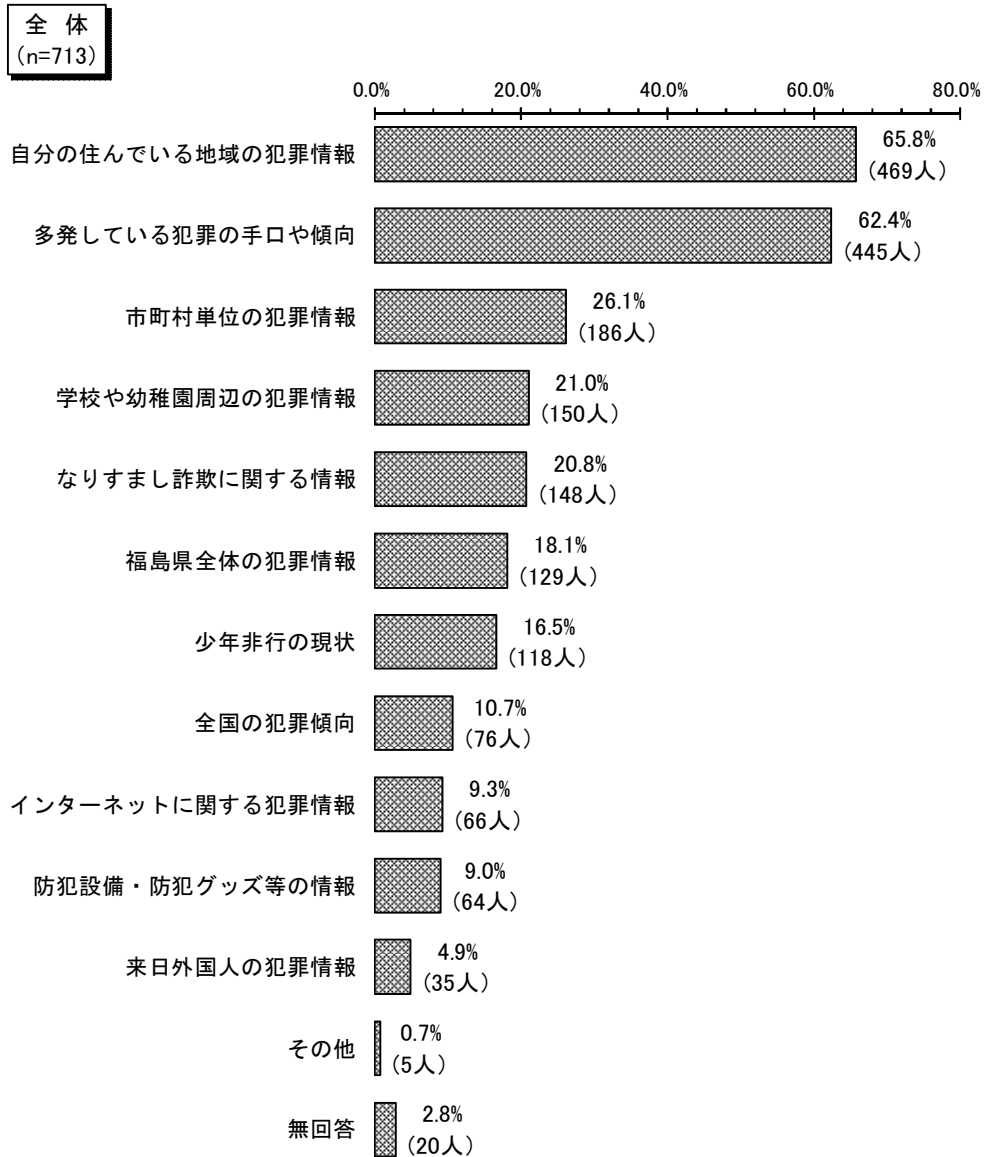
【参考 平成 23 年度調査との比較】



今回調査、平成 23 年度調査ともに回答数の多い順位は同じであるが、ほとんどの項目で平成 23 年度調査よりも割合が低下している。

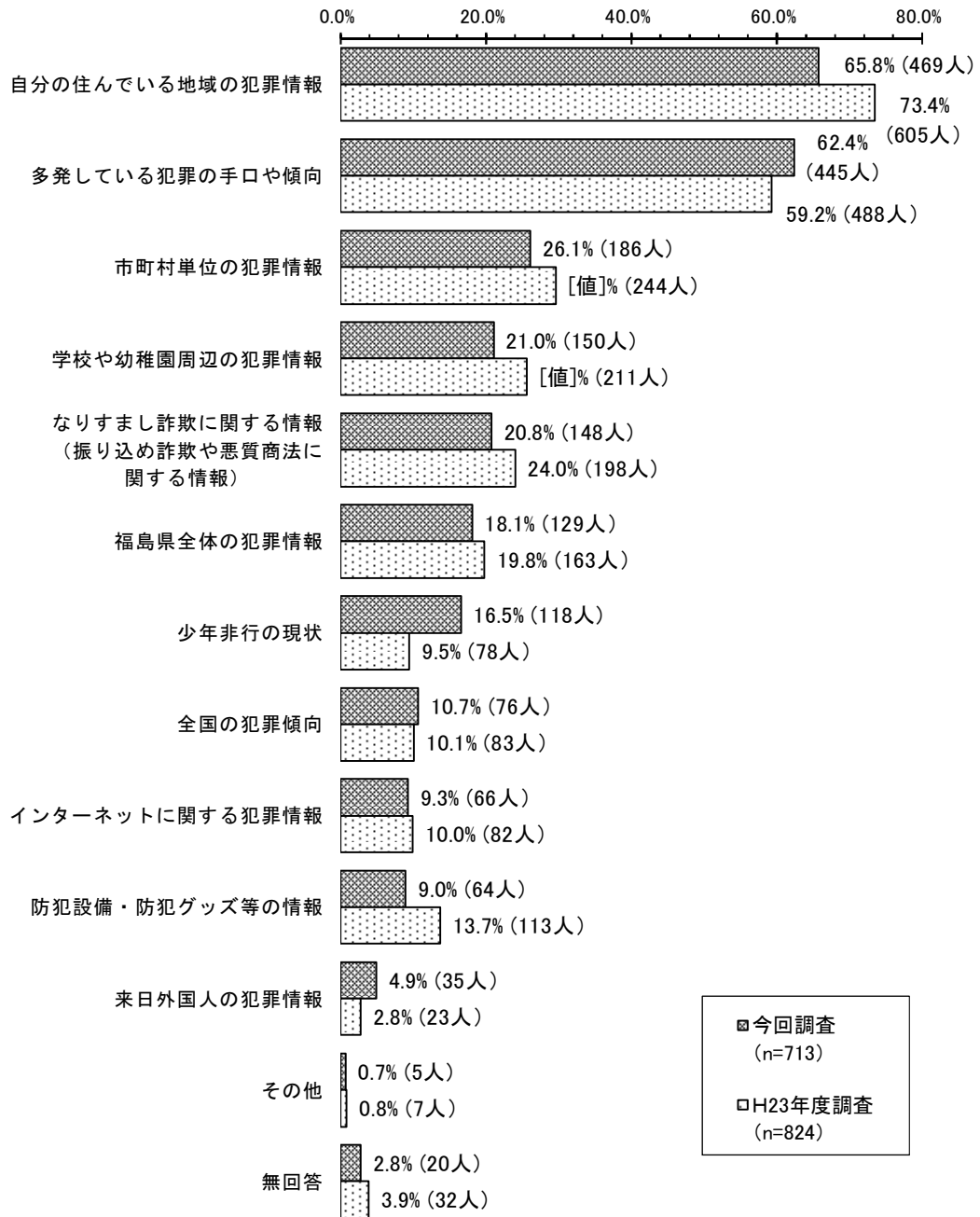
(5) 犯罪に関して知りたい情報

問 23 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。
 あてはまるもの3つまで○をつけてください。



犯罪に関して知りたい情報は、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(65.8%)が最も多く6割台となっている。次いであまり差がなく、「多発している犯罪の手口や傾向」(62.4%)も6割台で続いている。以下、「市町村単位の犯罪情報」(26.1%)、「学校や幼稚園周辺の犯罪情報」(21.0%)、「なりすまし詐欺に関する情報」(20.8%)、「福島県全体の犯罪情報」(18.1%)の順となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

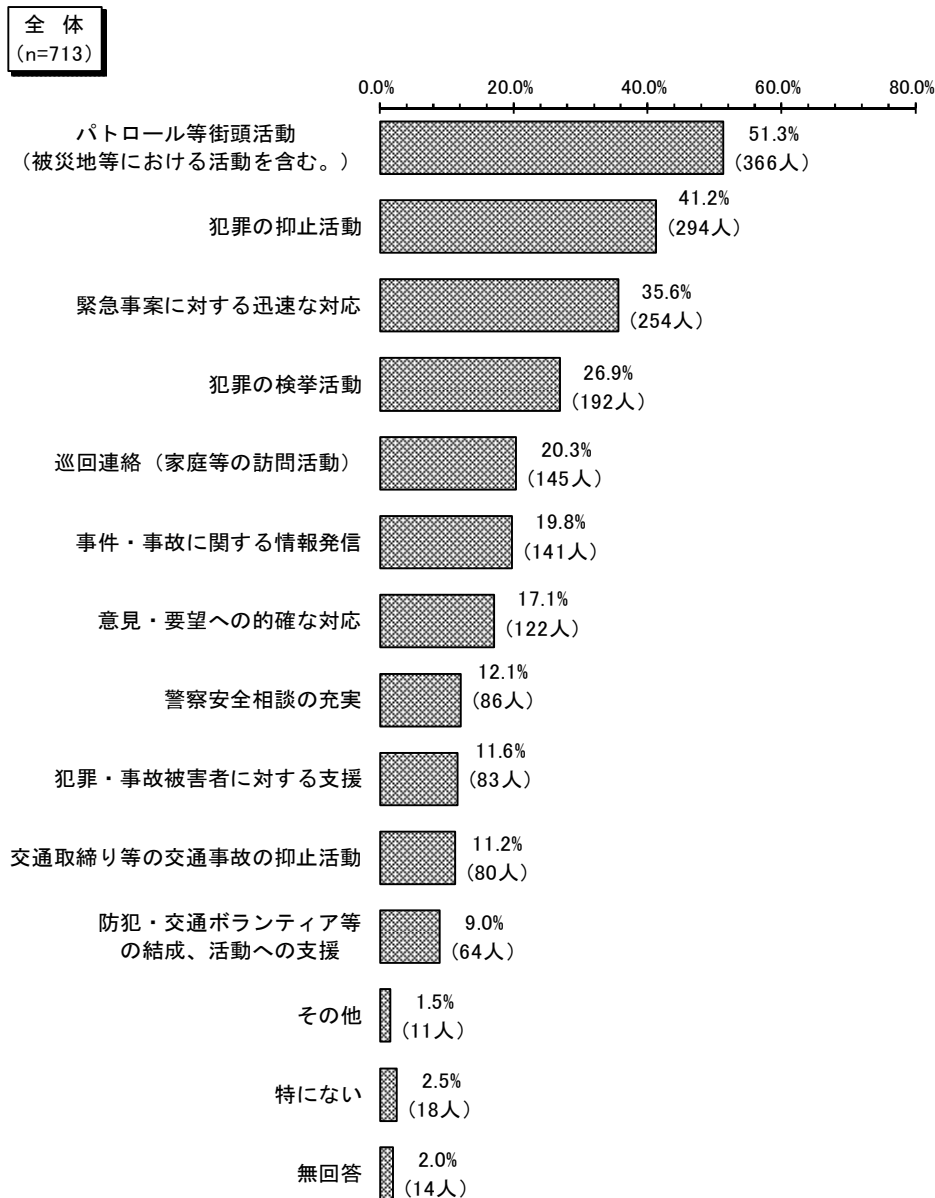


今回調査は平成 23 年度調査に比べて、「多発している犯罪の手口や傾向」の割合が上昇し、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」の割合が低下している。

(6) 警察に強化してほしい活動

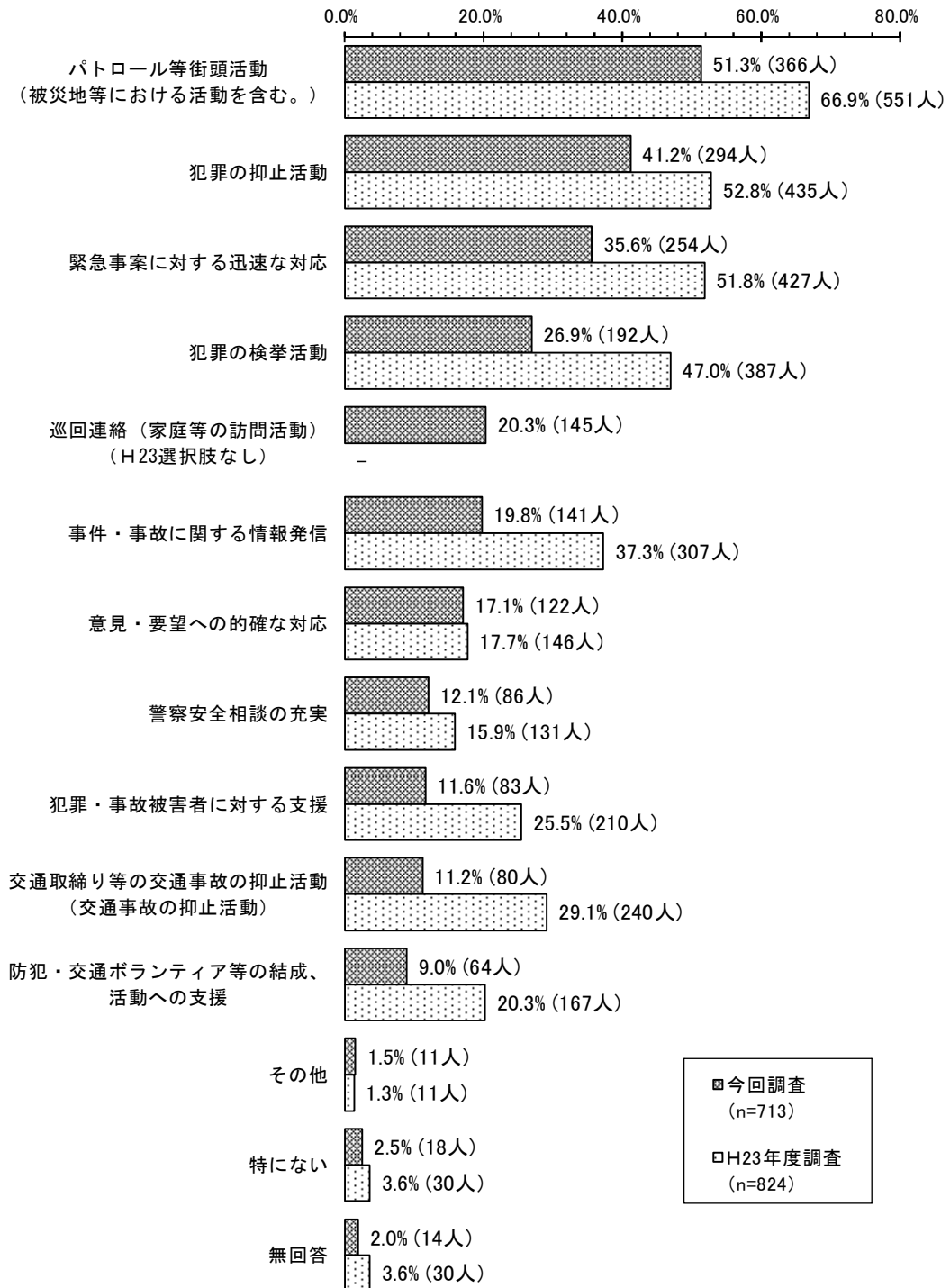
問 24 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動 (被災地等における活動を含む。)」(51.3%) が最も多くなっている。以下、「犯罪の抑止活動」(41.2%) が4割台で続き、「緊急事案に対する迅速な対応」(35.6%) が3割台、「犯罪の検挙活動」(26.9%)、「巡回連絡 (家庭等の訪問活動)」(20.3%) が2割台、「事件・事故に関する情報発信」(19.8%)、「意見・要望への的確な対応」(17.1%)、「警察安全相談の充実」(12.1%)、「犯罪・事故被害者に対する支援」(11.6%)、「交通取締り等の交通事故の抑止活動」(11.2%) が1割台となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

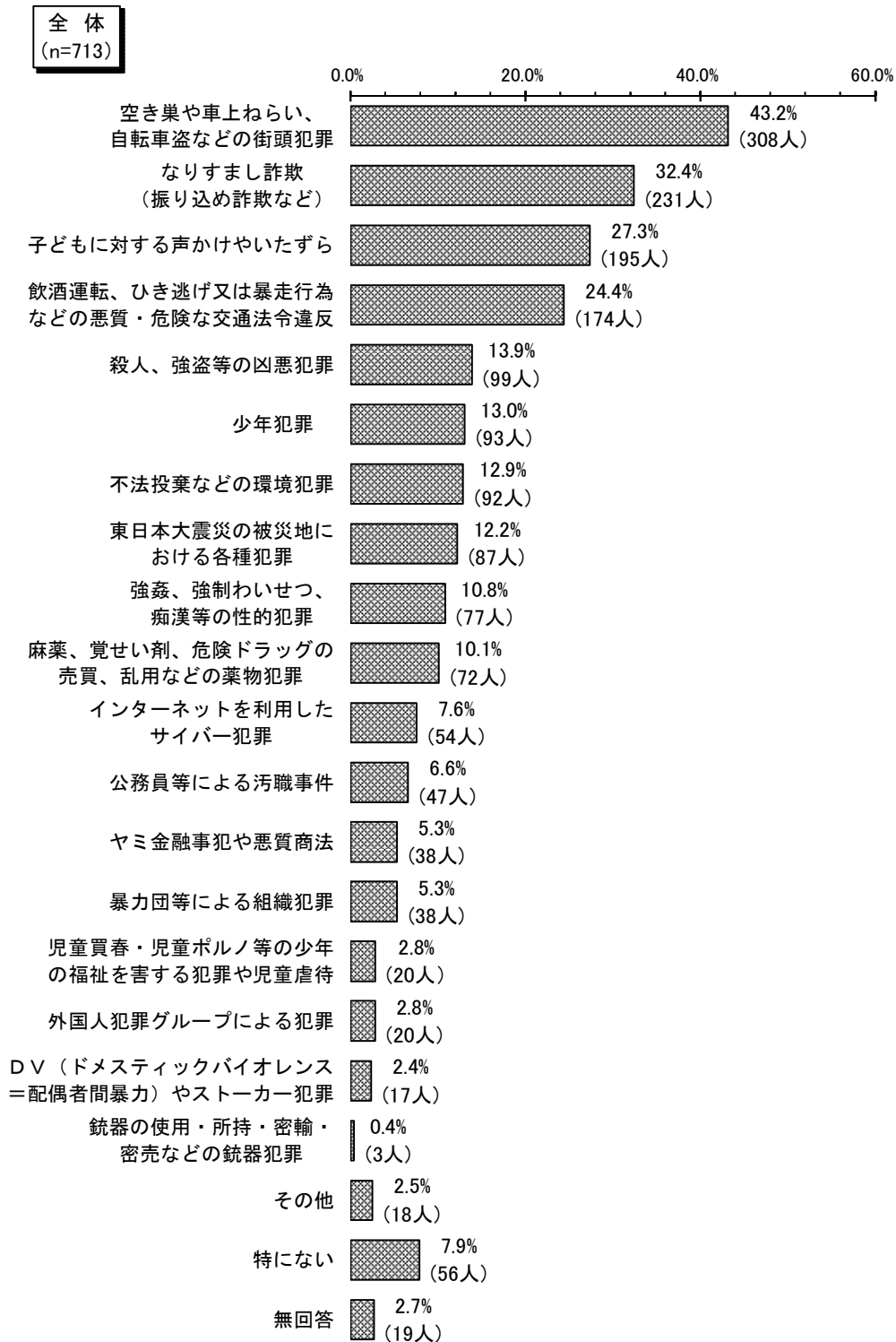


※今回の調査は3つまでの複数回答、平成23年度は制限無しの複数回答のため、図のみの掲載に留める。

(7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

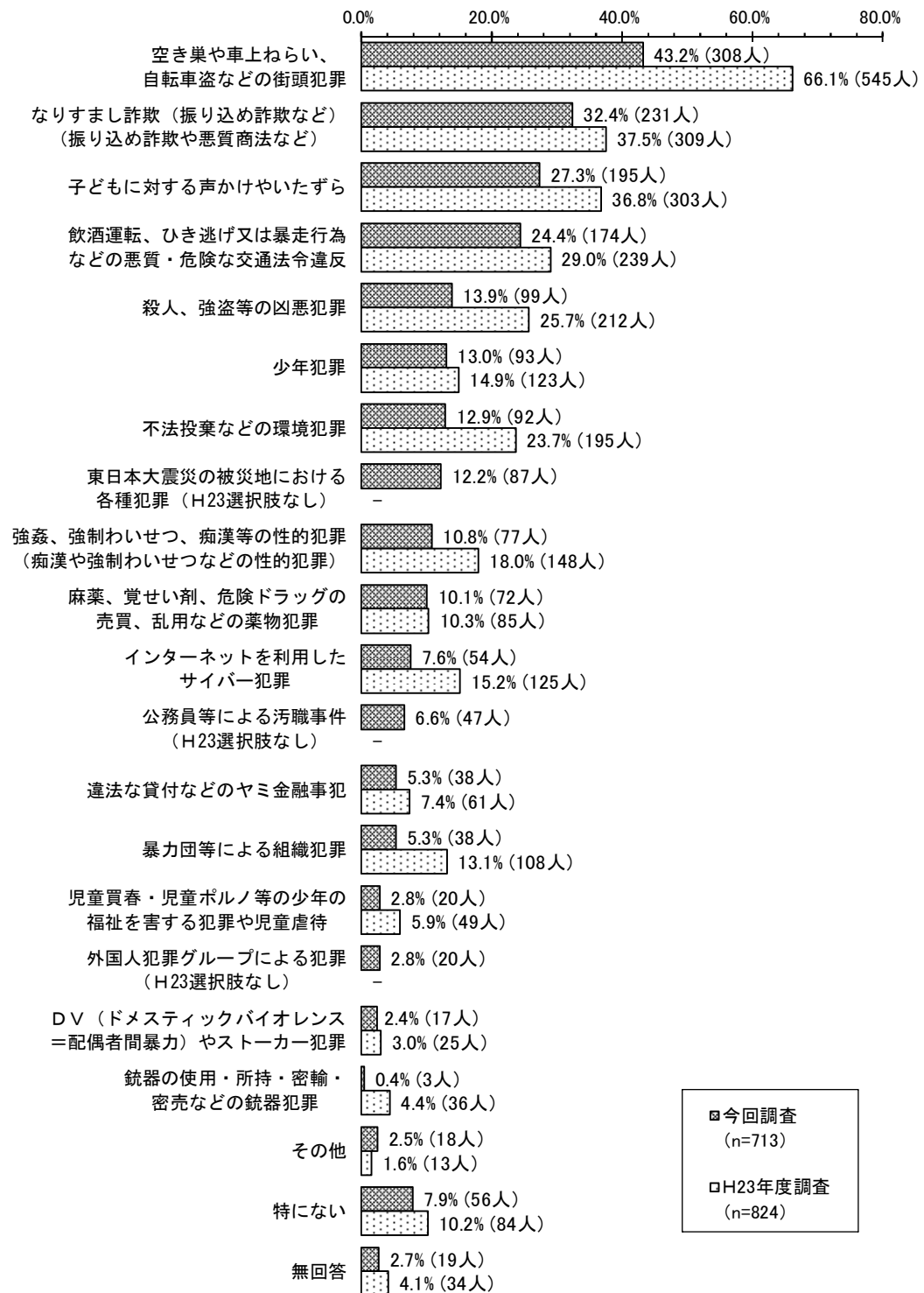
問 25 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



今後重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪」(43.2%)が4割台で最も多くなっている。以下、「なりすまし詐欺(振り込め詐欺など)」(32.4%)、「子どもに対する声かけやいたずら」(27.3%)、「飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反」(24.4%)、「殺人、強盗等の凶悪犯罪」(13.9%)、「少年犯罪」(13.0%)、「不法投棄などの環境犯罪」(12.9%)、「東日本大震災の被災地における各種犯罪」(12.2%)が続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



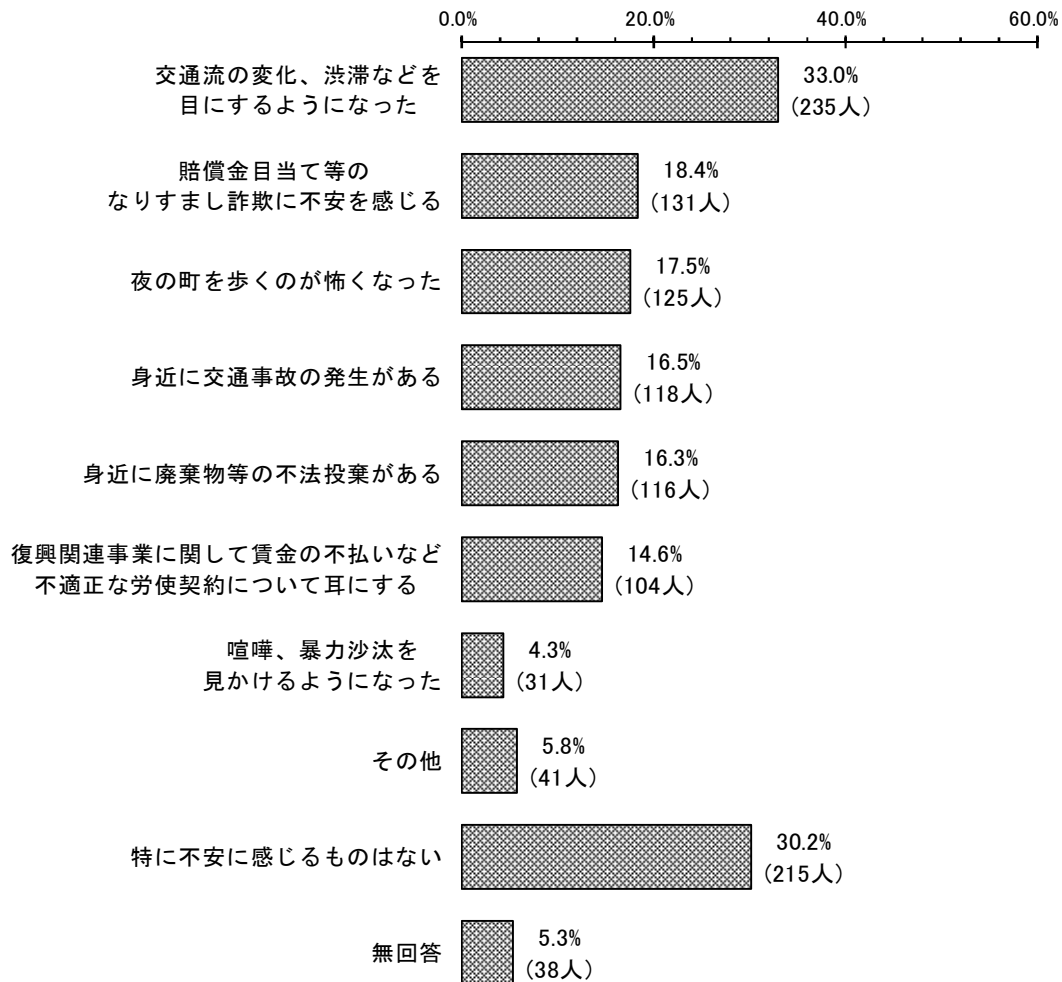
※今回調査（重点的に取り締まってほしい犯罪）と平成 23 年度調査（最も不安に感じる犯罪）では設問が異なるため、図のみの掲載に留める。

(8) 身近に感じる不安

問 26 震災から4年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体
(n=713)



復興に伴い治安面で身近に感じる不安は、「交通流の変化、渋滞などを目にするようになった」(33.0%)が最も多くなっている。以下、「賠償金目当て等のなりすまし詐欺に不安を感じる」(18.4%)、「夜の町を歩くのが怖くなった」(17.5%)、「身近に交通事故の発生がある」(16.5%)、「身近に廃棄物等の不法投棄がある」(16.3%)、「復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする」(14.6%)が1割台となっている。